

アソカ講話047

テーマ「蓮の華」

読書会で蓮の華が話題になりました。蓮の華は泥の中に根を張り、美しい花を咲かせています。不純な泥を吸って、純粹で輝くような花を咲かせています。泥とは何でしょうか。悲しみの泥を吸い、辛いと言う泥を吸い、病気という泥を吸い、トラブルと言う泥を吸う。その泥は、蓮の根を通り、茎を通る中で浄化され、やがて純粹に輝く素晴らしい花として結実させる。

それは、私達に人生においても同じこと。ある参加者はその感想をこのように表現している。「私自身もどんなに辛いことがあろうと、悲しい事、苦しいことがあっても腐らず耐えて継続していると将来必ずきれいな花を咲かせて、幸せを感じ取ることができるであろうと学びました」とある。そう気づくことで困難な物の見方が変わる。

人間関係で悩むことのない山奥に隠れ住んで穏やかに暮らせたとしても、それは本当の意味で穏やかさを身につけたのではない。心の安定・悟りとは泥の中にあって純粹な花を咲かせる蓮華のように、複雑な社会にあって穏やかに優しく生きることである。

私達は、現実を離れて生きることはできないし、現実を離れて本当の自分にはなれないのだ。